参考資料 ～ 講師紹介、「デジタル化」のココが知りたい！

●講師紹介

株式会社プライムコンセプト

専務取締役　内藤　英賢（ないとう　ひでさと）氏

＜プロフィール（案）＞

早稲田大学政治経済学部卒業、株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行、アビリブ（旧：アビリティ

コンサルタント）のコンサルティング事業部長、取締役グループ事業担当（現在兼務）を

経て、現職。観光業界とりわけ宿泊業のWebマーケティングコンサルティングでは日本有数の実績を誇る。

＜講師から一言＞

観光業×デジタル化は急務である。  
アフターコロナにおいて、あらゆるもののデジタル化が一層進むことは間違いない。

とはいえ、一体デジタル化と言われても何をどのような優先度で取り組めばよいか分からないというのも正直なところであろう。  
そこで、本講演では、観光業界で起こっている大きな動きから、今後起こり得るアフター

コロナ後の未来を予測して、取り組むべき事項を具体例をあげて説明したいと思う。  
（※OTA、Trip Advisor、Google、Instagram等の活用方法を含む）

●「デジタル化」のココが知りたい！

＜デジタル化対応の重要性・必要性＞

○ 観光業界における、「デジタル化」「デジタル化対応」とは？ 具体例？

○ デジタル化が進行すると、日々の業務の何が変わるのか？

○ コロナが終息した場合、「デジタル化対応」は必要か？ コロナが終息してもデジタル化

は進むのか？

＜デジタル化対応の具体案＞

○ デジタル化対策にかかる費用はどの位か？ 設備投資が必要か？ 人材雇用が必要か？

○「デジタル化対応」を実施しない（出来ない）場合、どうなるか？

○ 世界・全国・四国での取組事例はあるか？ 分かりやすい成功事例・失敗事例は？

○ デジタル化対応の手順。業種別・規模別でやるべきことは違うのか？

○「コロナ対策」、「デジタル化対応」、「インバウンド対応」の優先順位や共通点。優先度をつけるべき点・同時進行で進めていくべき点、等々…。